



ヒューマンコミュニケーショングループ
Human Communication Group

ニュースレター

2008年度 No.2

URL: <http://www.ieice.org/hcg/jpn/>

Contents

- ・ FIT2008報告
- ・ 福祉情報工学研究会活動報告
- ・ ヒューマン情報処理研究会活動報告
- ・ 研究会・関連行事カレンダー

FIT2008(情報科学技術フォーラム)報告
WIT 研究会幹事 西本 卓也
(東京大学)

FIT2008 第7回情報科学技術フォーラムが、去る9月2日～4日、慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパスにて開催されました。情報システムソサイエティ(ISS)、情報処理学会(IPSJ)、および、ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)の共催で、2002年より毎年開催されています。

【概況】今年度は発表件数 722 件とやや昨年度を下回る数字となりましたが、21 件のイベント企画が開催され、科学技術の観点および社会的に重要な問題について活発な議論が為されました。また、慶應義塾の創立 150 年記念を記念して安西祐一郎 慶應義塾長のビデオメッセージが披露され、イベント企画「情報“実学”実践の場としての SFC」の開催、慶大がホスト機関をつとめる World Wide Web Consortium(W3C)の提案によるユビキタス Web のシンポジウムなど、多くの関連行事が FIT2008 を盛り上げました。

3 日に行われた表彰式、船井業績賞を受賞された川人光男様(ATR 脳情報研究所・所長)の記念講演「ブレイン・ネットワーク・インタフェース(BNI)技術の最前線」には多くの聴衆が集まりました。特に川人様の講演では、脳研究がロボット工学や情報科学だけでなく遺伝子工学・経済学・マーケティング・医療・福祉など、さまざまな分野に影響を与えつつある現状を、ご自身の多くの業績を交えてご講演されました。この分野の研究に多くの方の参加を呼びかけるご発言もあり、会場からも脳活動の測定技術や人工感覚器などに関する熱心な質問があり、熱い議論が交わされました。

本年はHCG 関連のイベント企画を提案することができませんでしたが、関連研究会が受け付けた査読付き論文および一般論文について多くの発表が行われました。また福祉情報工学関連セッションでは、視覚や聴覚に障害をお持ちの方が FIT に参加できるように、福祉情報工学(WIT)研究会が情報保障を担当しました。

FIT2008 では一般セッションにおける聴覚障害支援関連の講演の一部でPC 要約筆記を実施しました。今後も多様な参加者の交流の場を実現するために、イベント企画とセッション運営の両面で努力を重ねていくことが重要と思われます。

【FIT2008について】 来年度は9月2日～4日、東北工業大学 八木山キャンパスで開催される予定です。FIT では毎年魅力的な企画が多数開催されます。また2009 年度より「査読付き論文」について見直しが行われ、論文誌への推薦を得るための査読の導入、フルペーパ

ーと同等程度のページ数制限の緩和などがなされる予定です。この機会を利用し、成果のご発表や聴講参加などで、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

福祉情報工学研究会(WIT)活動報告
専門委員長 中山 剛
(国立障害者リハビリテーションセンター)

2008 年度、当研究会は4 回開催されました(2009 年1 月末現在)。その際、研究会テーマと関連ある施設や研究室の見学会やパネル討論会、特別講演など様々な企画を開催しています。福祉情報工学分野は研究者だけでは多くの発展を望めません。高齢者や障害当事者、ご家族、関連専門職の皆様などとの深い連携ならびに協力の上で、初めて健全な発展が望めると考えます。7 月の研究会では特別支援学校の教諭、言語聴覚士、作業療法士など関連専門職の皆様がパネリストとしてご参加頂いた討論会を開催致しました。また、10 月の研究会では車いすや電動車いすの利用者など障害当事者にご参加頂いた討論会を開催致しました。これらの見学会や企画、一般発表の様子の一部を記録にまとめた報告書をPDF 形式にして当研究会ウェブサイトでご公開しています。宜しければご参照下さい。

2008 年度はあと2 回の研究会を予定しており、第5 回研究会(日本音響学会聴覚研究会と共催、2009 年2 月20 日(金)・21 日(土)、愛媛大学)と第6 回研究会(HCG シンポジウムの一環、2009 年3 月23 日(月)～25 日(水)、島根大学)を計画しています。

FIT2008 では福祉情報工学をテーマにした3 セッションが生まれ19 件の一般発表を頂きました。2009 年総合大会では4 セッション17 件の一般発表を予定しています。また、計測自動制御学会主催のワークショップ「SICE ライフサイエンス(生命、健康、医療、福祉)の現状と連携推進を探る」にも参加し、今後の連携や情報交換、交流について議論してきました。このように2008 年度も他の研究会と大変良い交流ができており、今後とも継続できるよう努めます。

これまで開催した研究会は下記の通りです。

■ 第1 回研究会(音声研究会(電子情報通信学会・日本音響学会)と共催)

開催日時:2008 年5 月29 日(木)・30 日(金)

テーマ:福祉と音声処理、一般

開催場所:神戸大学(兵庫県神戸市)

発表件数:19 件(うち WIT 側申し込み分が16 件)

参加者数:延べ75 名

見学会:神戸大学・有木研究室(5 月30 日)、神戸アライト協会の視覚障害者通所施設および IT 支援施設(5 月31 日)

■ 第2 回研究会

開催日時:2008 年7 月27 日(日)・28 日(月)

テーマ : 福祉情報工学一般
 開催場所 : 朱鷺メッセ(新潟県新潟市)
 発表件数 : 12 件
 参加者数 : 延べ 65 名
 パネル討論会 : テーマ : 地域連携による汎用コミュニケーション
 エイドの研究開発と知的障がい児・発達障がい児の教育支援

■ 第3回研究会

開催日時 : 2008年10月22日(水)・23日(木)
 開催場所 : 国立障害者リハビリテーションセンター(埼玉県所沢市)

テーマ : 福祉情報工学一般
 発表件数 : 一般発表 7 件, 国際会議報告 1 件
 参加者数 : 延べ 67 名
 パネル討論会 : テーマ : 障害当事者によるニーズ紹介
 見学会 : 国立障害者リハビリテーションセンターならびに国立
 職業リハビリテーションセンターの見学会を実施

■ 第4回研究会(ヒューマンインタフェース学会(HIS)研究会
 と共催, 感覚代行シンポジウムおよび産総研ジェロンテクノロ
 ジー研究フォーラム 2008 併催)

開催日時 : 2008年12月3日(水)・4日(木)
 開催場所 : 産総研 臨海副都心センター(東京都江東区)

テーマ : 福祉情報工学一般
 発表件数 : 一般発表 16 件(うち WIT 申し込み分が 10 件), 招待
 講演(HIS 提案)1 件
 参加者数 : 延べ 92 名
 特別企画 : テーマ「オープンソースソフトウェアと Web アクセシビ
 リティ」(ITRC UAI(Universal Access to the Internet)研究会共
 催)

※ 福祉情報工学研究会(WIT)は 2008 年度より英語名称を
 Welfare information Technology から Well-being
 Information Technology に変更しました(英語略称は WIT で
 変更なし)。

ヒューマン情報処理研究会(HIP)
 喜多 伸一
 (神戸大学)

ヒューマン情報処理研究会(HIP)は、人間と情報の関
 係について科学的に研究した結果を発表し討議する場
 を提供します。この研究会は、ヒューマンコミュニケーシ
 ョングループ(HCG)の誕生とともに発足し、今年で 15 年
 目を迎えました。

発足当初の運営には苦労がありました。なかなか発
 表が集まらなかったからです。少なくとも、研究会を開催
 すれば安定した数の発表が集まるというような幸福な事
 態ではありませんでした。しかし、発表数が少なくなりそ
 うなときでも、ちょっと呼びかけると発表はすぐ集まり、
 突り豊かな討議が行われました。このことは、人間と情
 報の関係を扱う研究者はそもそも多かったこと、および、
 そういった研究者ならここに発表するのがあたりまえと
 いう場がかつては存在しなかったということを示します。

しかし今は、研究会を研究するたびごとに、討議にふ
 さわしい規模の発表が集まります。2008 年度は年間 6
 回の研究会に対し 160 件余りの研究発表が行われました。
 このことは、ここ 15 年の間に HIP で発表されてきた
 研究が、人間科学や情報科学の研究者コミュニティで
 認められてきたことを意味します。

人間と情報の関係を扱う研究はさまざまな方法論に
 基づいています。神経生理学や脳科学では、情報処理
 メカニズムに関し、人間の脳損傷事例観察や動物の電
 気生理学実験から得られた知見に加え、人間の脳機能

画像解析から得られた知見が累積されています。実験
 心理学では、感覚系の情報特性を記述する心理物理学
 が盛んに研究されています。またその方法を活かし、
 注意、思考、判断のような認知的な情報特性を記述す
 る認知心理学が盛んに研究されています。赤ちゃん、少
 年、青年、成人、高齢者を対象にする発達科学的研究
 や、対人関係、集団、組織、文化を対象にする社会科
 学的研究も重要です。人間と情報の関係についての最
 近のホットピックスには、人間が獲得している機能を系
 統発生的にさかのぼる進化論的研究が挙げられます。

一方、情報には技術開発という側面もあります。情報
 処理技術や情報通信技術は人間の生活に影響を及ぼ
 し、われわれの日常生活は情報機器を抜きにしては語
 れません。文章を作成するときにはワープロをはじめ
 コンピュータ上で作業することが標準化し、その結果、作
 文作業や作文教育は変容しました。新聞は読まずテレ
 ビは見なくても、インターネットには一日に何回もアク
 セスする人は少なくありません。携帯電話の使いやすさ
 や画面の見やすさは多くの研究アイデアの集積である
 とともに、携帯電話が若年層の生活に及ぼす影響も見過
 せません。さらに、人間が情報機器を意図的に扱う場
 面以外でも、情報機器は、人間のまわりにアンビエント
 に存在するようになってきており、日常生活を左右する
 に至っています。

HIP は人間と情報の関係についての科学的な研究を、
 すべて受け容れてきました。またこれからも受け容れ
 ます。人間が感覚情報をどのように処理するかという研
 究も OK です。人間が情報機器をどのように扱うかとい
 う研究も OK です。人間に適した情報機器の設計に関
 する研究も OK です。情報機器が人間の日常生活や社会
 構造に及ぼす研究も OK です。人間と情報の関係を探
 るうとする科学的な研究であれば、何でも受け容れま
 す。HIP は、人間と情報の関係についての研究を進展さ
 せることにより、電子情報通信学会に貢献したいと考
 えています。

研究会・関連行事カレンダー
 詳しくは、HCG ホームページ
<http://www.ieice.org/hcg/jpn/> をご覧ください。

— 2009 年 5 月 —

★WIT・HIP・HCS 共催 研究会
 【期日】2009年5月14日(木)~15日(金)
 【会場】沖縄産業支援センター

— 2009 年 6 月 —

★MVE 研究会
 【期日】2009年6月1日(月)~2日(火)(予定)
 【テーマ】人工現実感, および一般
 【会場】東京大学山上会館

— 2009 年 7 月 —

★WIT 研究会
 【期日】2009年7月未定
 【会場】山梨大学

— 2009 年 9 月 —

★FIT2009
 【期日】2009年9月2日(火)~4日(木)
 【会場】東北工業大学

— 2009 年 10 月 —

★WIT 研究会
 【期日】2009年10月29日(木)~30日(金)
 【会場】青森公立大学